



児童養護施設 合掌苑 〒501-4101 岐阜県郡上市美並町上田 674

電話 0575-79-2914

FAX 0575-79-3584

「家庭的養護の目指すもの」

合掌苑苑長 山口 薫

今年も小学校に 1 名、中学校に 1 名、高校に 2 名が入学して新たな生活が始まりました。年度が変わるたび、子どもたちの成長を感じると共に、私たちが新たな気持ちで仕事に取り組みます。今年度合掌苑では、長く続けてきた養護体制を大きく変え「生活単位の小規模化と家庭的な当たり前の生活の確保」に取り組みます。建物自体は変わりませんが生活グループをかやの実館、福祉館、本館の 3 グループに分けて、児童は縦割りで 6～10 名、職員は棟ごとに固定して 3～6 名配置し、より家庭的な生活を体験できるような体制を作りました。特にかやの実館・福祉館は 6 名程度の子どものグループで、子どもたちの居場所が多くあり、食事を中心にあらゆる生活が各ホームで行えるため、子どもと職員がより近い距離で家族のように生活ができる空間になっています。少数の体制になったことで子どもの思いも聴き取りやすく、休みの日にお菓子作りをする子どもや、職員と共に編み物を楽しむ子、またゲームをして楽しむ子など、落ち着いて自分の自由な時間を過ごせています。まだ始めたばかりですが、荒れることが多かった子が落ち着いたとか、職員に甘えて来ることが多くなったなど、うれしい報告がたくさん聞こえてきています。



今までの大舎制での生活を体験して卒苑していった子どもの中には、社会に出てから自分一人の時間をうまく過ごすことができず、人と一緒にいない時間に不安を覚えるのか、友人と必要以上に遊んでしまったり頼ってしまったりして、会社や仕事への適応がうまくいかなくなってしまうことがありました。自分で趣味や楽しみを持ち、一人の時間をうまく過ごせる力もこの家庭的な生活を通じて身に付けてほしい力だと考えています。そのためには職員一人一人が子どもの気持ちを理解し将来の自立に向けた支援を考え取り組むことが必要となってきます。

卒苑生が時々来苑して話してくれることは、こんなことをしてあの先生にしかられた、自分はこんな気持ちで生活していたなど当時の思い出話が多いのですが、担当してくれた職員とのかかわりについての話も多いです。大きくなってから自分が小さかったときの様子や出来事の話ができるのは誰でもうれしいし、恥ずかしいし、楽しいものです。小さいときの思い出や育ちを思い出しながら時々顔を出してくれるのはこちらもうれしいものですね。これからもそんな温かみのある合掌苑にしていくために、職員と子どもが密接な関係を作れるような環境を整えてあげたい。小規模グループでの生活は子どもたちが自分のことを理解してくれる大人の存在を実感でき、安心して生活できるものになると確信しています。

私たちは将来子どもが家庭を持ち、当たり前の生活ができるように自立をサポートしています。しかし、学力面や経済面でのリスクもあり、援助の手を必要としている子どももたくさんいます。健全な社会生活ができ将来の自立に向けた支援をより大きくするためにも、今後ともみなさまのご支援をお願い致します。

平成 26 年度担当紹介

平成 26 年度より、より家庭的な小規模施設を目指して、本館・福祉館・かやのみ館の 3 棟を利用したグループケアを開始しました。食事も 3 食とも各棟で食べる体制になります。ここでは各棟の職員の紹介と今年度の抱負を掲載します。

本館担当の紹介



本館担当は幼児から高校生までの男子 4 名、女子 5 名の 11 名の子どもと担当職員 6 名のグループです。子どもの年齢に差がある為まとまりにくさもありますが年上の子が年下の子の世話をするなど兄弟のような温かさを持ってみんなで協力して生活して行って欲しいと考えています。子どもたちに「合掌苑の本館担当で良かった」と思ってもらえるよう、職員も精いっぱい援助をしていきたいと思ひます。楽しい中にも厳しさのある、みんなで成長していける本館担当にしていきたいです。

本館担当職員一同

福祉館担当の紹介



H26 年度の福祉館は、高校生男子 2 名、中学生男子 2 名、小学生男子 1 名の計 5 名でのスタートとなりました。今年度から、より家庭的な養護が出来るように、職員 3 名が福祉館を 1 つのお家という考え方をもちながら、子どもと共に生活しています。子どもも以前に比べると一人ひとり落ち着きがあり、良いスタートがきれているように感じます。しかし、男の子ばかりということで部屋が散乱するなど、だらしのない所が多々あります。そこで子どもとも話し合い、今年度は清潔で綺麗な福祉館でいられるように目標を決めました。一歩ずつではありますが、職員 3 名がお母さん役となり自分で身の回りのことが出来るように支援していきたいと思ひています。また、子ども、職員共に助け合いながら仲良く生活していけるようにしたいです。

福祉館担当職員一同

かやのみ館担当の紹介



こんにちは。新生かやのみ館です。今年度かやのみ館は、小学5年の女子から高校3年の女子まで6人の子どもと、女性職員3名の9名での出発です。朝食・昼食・夕食とも全員がかやのみ館で取り、同じ釜の飯を食うという家庭的な養護を目指しています。初めての事ばかりなので、どうなるのか、どうすれば良いのか多少の不安はありますが、それ以上にこんな事してみよう！あんな事もできるんじゃないかな？という期待の方が多いため、楽しみな試みでもあります。月に1度の茶話会での子どもとの話し合いを大切に、子どもの話を聞き、意見を取り入れながらやっていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

かやのみ館担当職員一同

<今年度の体制>

在籍児童数————— 4月1日現在 22名 —————

(幼児1名・小学生7名・中学生3名・高校生11名)

児童担当並びに担当職員数

本館担当————— 11名 (幼児～高校生男・女) 常勤職員6名・非常勤職員1名

福祉館担当———— 5名 (小学生～高校生男子) 常勤職員3名

かやの実館担当— 6名 (小学生～高校生女子) 常勤職員3名

*宿直————— 毎日各館1名で実施

<職員紹介>

(———— は非常勤職員)

苑長— (山口薫) 副苑長— (古川浩二) 事務長— (成澤武史)

書記— (安藤達也) 栄養士— (池戸花菜栄) 心理士— (渡邊由季子・田口直幸)

担当職員— 本館 (辻純貴・末松正子・市原里美・岡本緑・田中耕爾・林健太郎・小酒井三代子)

福祉館 (佐藤創太・山本伊織・水谷加奈)

かやのみ館 (河井真理子・山家あゆり・田中香奈絵)

調理員— (村瀬由美子・澤田栄子・小酒井豊子) 用務員— (古川伊津子)

管理宿直— (高木孝博・松山瞳・末松富美子)

<児童・職員の動静 平成25年4月～平成26年3月まで>

(児童) ———— 退苑 (幼児2名・小学生2名・中学1名・高校生4名)

入苑 (小学生1名・中学生1名)

(職員) ———— 退職 (心理士—今井敦子) (保育士—前山哲子)

新任 (事務長—成澤武史) (心理士—田口直幸)

*この期間トワイライト・ショートステイ として15名の子を受け入れました。

平成 25 年後期 合掌苑行事



12月 25日 クリスマス会

今年のクリスマス会は、仮装して人気者になりきった幼児さんたちによる「じぇじぇじぇ!」「お・も・て・な・し」「今でしょ!」「倍返しだ!」が総出演の流行語大賞ショーで幕を開けました。なんと、ふなっしーも登場してびっくり!会場は大盛り上がりです。今年の会の目玉は、子どもたちの提案で職員も巻き込んでやることになった創作ダンスでした。職員も子どもから振付を教わり、本番は男性職員も子どもたちと一緒にセーラー服を着て踊りました。真剣な表情で踊っているのがまたおもしろく、観客は大爆笑でした。毎年恒例になっている二人羽織や職員劇も盛り上がり、子どもも職員も笑いの絶えない楽しいクリスマス会となりました。



1月 11日 どんど焼き

今年も毎年恒例のどんど焼きを、1月15日に行いました。苑の子ども、職員、関係各所の皆様、地域の方々の無病息災をお祈りしました。正月飾りを始め、苑の子は学習ノートやテストなども火にくべて、頭がよくなりますようにとお祈りする姿も毎年恒例になっています。何より子ども達の楽しみはどんどの残り火で焼いた餅と炊事のおばちゃん特製のけんちん汁です。寒空の中、みんなで温かいお餅とけんちん汁を食べ、心もお腹も満たされた素敵な1年のスタートになりました。



2月 3日 節分

本堂でのお経会后、合図と共に福は内!鬼は外!と豆まきが始まります。春の訪れを祝うと共に、内なる鬼を追い払い、福を呼び込む行事です。合掌苑ではピーナッツと大豆と飴などを投げます。鬼役と投げる役に別れて年男・年女が投げています。

11日 テーブルマナー

今年度も(株)竹内刃物様よりご招待を頂きました。中3が対象で岐阜グランドホテルにて、児童4名、職員2名で参加しました。子ども達は初めてのフランス料理をスタッフの方にテーブルマナーを教わりながら、食べました。最後はナイフとフォークを上手に使えるようになりました。卒業祝いにプレゼントも頂きました。日常では経験できないことをさせていただき、子ども達にとってかけがえのない貴重な経験ができました。



23日 冒険キッズ

郡上八幡にある山と学校の招待で、今回で夏4回、冬4回の合計8回目の招待をして頂きました。子ども11名、職員2名が郡上市高鷲町鷹見で雪遊びなどをして、1日エンジョイしました。ソリ遊び、タイヤチューブ滑り、カマクラ作り、雪山散策をスタッフの方に補助してもらいながら本当に楽しい1日を過ごせました。子ども達のとびっきりの笑顔が印象に残りました。



15日 卒園卒業お祝い会

卒園卒業お祝い会を行いました。今年度は、幼稚園卒園1名、小学校卒業1名、中学校卒業4名、高校卒業1名でした。各担当より一人ひとりお祝いの言葉と進学に向けて、激励の言葉を頂きました。改めて伝えられると伝える方も伝えられる方も照れましたね…。そして、竹内刃物さんより頂いた卒業生へのプレゼントを苑長先生から渡していただきました。竹内刃物さんには、20年以上前からテーブルマナー招待と併せて卒業のお祝いを毎年いただいています。本当にありがとうございます。最後に卒園・卒業した皆さん！新しい場所は不安もいっぱいあると思いますが、向上心を持って頑張ってください。



<後援会「友の会」について>

- ・親と一緒に暮らせない子どもであるからこそ、豊かな生活・豊かな環境が保障されなければなりません。この為にも合掌苑では後援会組織「友の会」を結成しております。
- ・会費3,000円、皆様のお力添えをお願い致します。
- ・詳細については、「友の会」事務局、合掌苑までご連絡下さい。

<平成25年度友の会 会計報告>

入金額 58,804円 (平成26年3月31日現在)

☆ 友の会としてご入金いただいたお金は、合掌苑 施設会計に寄付金として計上し、子ども達の生活に役立たせていただきます。今後とも皆様には引き続き倍旧のご厚情を賜りたく、お願い申し上げます。皆様のご健康とご発展をお祈り申し上げます。

<合掌苑新ホームページについて>



合掌苑の新ホームページが完成して早くも半年が経とうとしています。準備中だったページもかなり整備が進みました。お時間がありましたら是非一度ご覧ください。また、ご感想やご要望も随時お待ちしております。

ホームページアドレス：<http://www.gashyoen.com/>

E-mail：info@gashyoen.com





「温かい心」 (平成 25 年 12 月～平成 26 年 3 月)

合掌苑の苑児たちに沢山の方々から、温かいご支援を賜りました。略儀ながら紙面にお名前を掲載して御礼の言葉にかえさせていただきます。ありがとうございました。

NPO法人フラワーキャンドル	井上 和紅	猪又 裕子	延寿寺	太田 岩雄
緒方 基	おばあちゃんサンタ	神楽サロン	粥川 秋廣	カルピス株式会社
河合 信子	久我 行子	郡上市学校事務組合	国田 祐子	桑原 彩子
小池 いく代	小森 健一	大容スポーツ	高垣組	高倉 とも子
滝 敏子	田口商店	武内優子クリスティーナ	玉田 正司	中島 登一
浪岡 育子	日本鏡餅組合	畑佐 和昭	はちまん幼稚園	原 正枝
福手 淳子	古田 了	北師会	北辰寺	松尾 栄
松山 紀子	宮川 宣昭	山崎 美佐代	山田 久美子	山と川の学校
(株)チュチュアンナ	(株)電通	(株)美並電気商会		ワールドメイト

★勝手ながら敬称を省略させていただきました。万一誤表記、掲載漏れがございましたら、なにとぞご容赦願います。



編集後記

昨年度はバタバタとあっという間に過ぎ去り、気づけば桜の季節となっていました。本誌でも紹介させていただきましたが、合掌苑はこれまでとは一味違った新体制での生活を始めています。新たな試みをスタートするに当たり、子どもたちはもちろん職員も試行錯誤を繰り返しながらの日々ですが、合掌苑にいるみんなが安心して安全に生活できることを目標に一丸となって作り上げていこうと思っています。さて、合掌苑は現在 24 回目のがらくた市の準備中です。いつも支えてくださっている皆様への感謝の気持ちを伝えられる楽しいイベントにできれば、という願いを込めて準備を進めておりますので、ぜひお立ち寄りください。